復興研究会報告

No.３２(令和３年度 第１号)

発行
岩手県立大槌高等学校
広報班
松田渓介　佐々木真尋　小國奨太
佐々木颯太　菊地謙晟
発行日：令和３年　６月　２２日

今年度１回目の定点観測　５月１５日（土）

雲一つない晴天の中、私たちは定点観測を行いました。

はじめての定点観測で不安なことがありましたが、自分がこれからこの町に、どんなことができるかを、考えることができました。定点観測で、復興が進んで、かわっていった町を見て、震災前のことを忘れたくないと思いました。そのため、震災前になにがあって、それが、震災と復興によって、どう変わっていったのかを話していく活動をしていきたいです。　一年女子

参加は４回目くらいだと思うが、参加してきた定点観測の中で一番心に残る会だったと思う。近藤先生のビデオメッセージを見て、定点観測に対する考え方が変わった。震災前の当時の写真と震災後の復興しかけている写真を見比べて、大槌の復興している姿が見えるように実感した。復興研究会という会での活動が、当時の記憶を風化させないためにも大切な活動なのではないかと思い、先輩たちのためにも力を入れて活動していきたいと思った。　二年女子

今回の定点観測では、ビデオメッセージを観たことで前回の定点観測よりも集中して取り組むことができました。数年前の写真と見比べて、角度や位置など自分なりにこだわりを持って取り組めました。地域の方から「定点観測をしてるの？」と声をかけられたことも、定点観測の大切さ、重要さについて考えることができる要因になりました。次の定点観測も頑張りたいです。　二年女子

今回で４回目となる定点観測では班長として本格的に活動を行いました。昨年の活動で学んだことを今回の活動で活かすことができました。また、今回は神戸大学の近藤先生のビデオを見て、定点観測はただ写真を撮るだけではなく、自分と向き合う時間であることや自分たちが復興にどう関わるかが大切であることを知り、これからの定点観測ではそのことを思いながら活動していきたいです。　二年女子

今回、初めての定点観測に参加してみて、自分が行ったことのない場所や、昔の大槌町を見ることができた。初めての参加で、不安なところもあったが、友達や先生と協力して写真を撮ることができて思っていた以上に楽しかった。それと写真を撮影していく中で、今までの先輩方が撮影してきたように、私も撮影していきたいと思った。次回の定点観測も参加したい。次は、もっとテキパキと撮影できるようにしたい。　三年女子

今回は、町方Ａ班として小鎚神社方面の定点観測をやりました。新たにサッカースタジアムなどの施設ができていてよかったです。これからも大槌が盛り上がるような施設が増えてほしいです。定点観測のビデオはとても素晴らしいと思ったので、ぜひダウンロードさせてください。僕は、あと１回くらいで定点観測の活動が終了するので、次もしっかり参加して写真を撮り、思いを残していきたいと思います。また、卒業した後も大槌の復興に何かしらの形で協力していきたいと思いました。　三年男子